

日本産業衛生学会
近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
 〒602-8048 京都市上京区下立売通
 小川東入ル
 中西印刷株式会社（日本産業衛生学
 会近畿地方会事務局支局）
 発行責任者 中西一郎（地方会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第70回日本産業衛生学会近畿地方会総会は書面開催とさせていただきます

近畿地方会長 中西 一郎

平素は学会運営にご協力賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受けて地方会幹事で検討しました結果、今年度も6月18日に予定しておりました第70回日本産業衛生学会近畿地方会総会は書面開催に、学術講演会につきましてはオンラインで開催とさせていただきます。なにとぞご了承のほどお願いいたします。

総会の書面開催につきましては、第1号から第5号議案を本ニュースの該当ページでご確認の上、同封の議決権行使書に賛否をご記入のうえ返送ください。

- 第1号議案 2021年度近畿地方会事業報告（4頁）
- 第2号議案 2021年度決算報告（3頁）*1
- 第3号議案 2021年度監査報告と監査意見（5頁）
- 第4号議案 2022年度事業計画案（5頁）
- 第5号議案 2022年度予算案（3頁）*2

なお、議案に「否」をつけられた方はご質問・ご意見をお願いします。kinki_kaicho@yahoo.co.jpに5月末日までにお送りください。幹事会で検討し返答させていただきます。

*1 決算について補足します。

収入の部では、総会の特別プログラムをオンライン開催しましたので参加登録料収益は0円でした。本部からの地方会会員数に応じて助成される助成金は地方会の源泉徴収分を除いた1,902,543円となりました。受け取り活動費は皆さんから頂戴する2,000円の活動費1,149名分です。また長年活動されていた職業性筋骨格障害研究会が解散となり、残金から振込手数料を引いた374,124円を地方会に返金いただきました。雑収益として計上しております。

支出のうち、事業費では総会の特別プログラムをオンラインで開催し会場費（zoomアカウント料含む）を発生させております。後述します新規パソコンの減価償却を本部の指示で42,795円発生させております（購入額は171,182円）。第61回近畿産衛学会の余剰金196,472円を差し引い

た303,528円を助成金として計上しました。3部会、2研究会への助成金は例年通りです。委託費は総会・特別プログラム等がリアルで開催がなかった関係で事務支局の中西印刷への支払いのみとなりました。開発保守費はホームページの更新とサーバーのレンタル料で例年320,000円を支出しています。このほかに第61回近畿産衛学会のサイトに50,000円を使いました。（合計370,000円）

支出のうち管理費では幹事会をオンラインで開催したことによって、会計監査の費用だけの発生となり費用削減となりました。また委託費も、会員管理の中西印刷への委託費だけとなり、削減となりました。

*2 予算案について補足します。

本予算は昨年11月に本部に提出しており、その時点で総会等のオンライン開催も考え、第61回近畿産衛学会で段取りよく行けた貸会議室のwebプランを念頭に300,000円予算化させていただきました。ニュース発行は例年通り2回を見込んでおります。近畿産衛学会はリアル開催を念頭に例年より増額して800,000円を予算化、部会助成金では歯科部会の発足に伴い150,000円×4部会で600,000円を予算化しました。予算時点で職業性筋骨格研究会解散は決まっておりましたので、産業精神衛生研究会とともにそれぞれ50,000円ずつ予算化しました（筋骨格分の50,000は使用しません）。管理費では今年は選挙の年で印刷発送物が増えますので、800,000円予算化しました。

財産目録ではかなり古くなったレッツノートを処分し、新しくNECのパソコンを購入しております。

■代議員の皆様へ

代議員会も書面開催といたします。代議員用の議決権行使書を同封いたします。総会の議決権行使書と併せて返送をお願いいたします。

■幹事の皆様へ

web上の幹事会を開催いたします。別途案内いたします。

謹告

本年は地方会役員と理事候補者選挙の年です。7月末までに2021年度、2022年度の日本産業衛生学会会費（1万円／年）を納入されていなければ選挙権、被選挙権が失効します。ご注意ください。

第70回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会

日 時：令和4年6月18日（土） 14：00～16：45

場 所：web 開催（Zoom ウェビナー）

職場で使われる化学物質の中には、危険性や健康有害性があるものが多く存在します。個別に法令で規制されている物質もありますが、規制されていない物質を、危険有害性を十分に確認せず使用したことによる労働災害の発生も多く報告されています。

このため、厚生労働省は、危険有害性が確認された物質に対して、ラベル表示と詳しい情報シート（SDS）の交付を義務づけ、事業者は製品のラベルと SDS から危険有害性を確認し、リスクアセスメントを実施した上で、労働災害を防ぐ措置を自ら選択して実行する「自律的な管理」を原則とする仕組みに転換する方向で、法改正の準備を進めています。

また、職場内における化学物質管理者の選任や外部の専門家（ハイジニスト等）の機能を定めるなど、新しい枠組みの導入が示されています。

このような流れの中で、行政、事業者、労働者、産業保健スタッフ、関係機関、それぞれが役割をしっかりと果たすことが大切と考えられ、今後、産業保健スタッフにも化学物質管理に対する知識や情報等がこれまで以上に求められていきます。

今回の学術講演会は、「今日からできる化学物質の管理」をテーマとして、化学物質管理の基本的な知識、実際の管理方法、現場で役に立つポイントを、事例を通してわかりやすく解説して頂く予定になっております。

特別講演1では、NAOSH コンサルティングの中原浩彦先生に、「化学物質の管理は、どうすればいいのか？～自律管理に向けて～」と題して、ご講演を賜ります。

特別講演2では、センクス産業医事務所の坂本史彦先生に、「見直してみよう！化学物質管理の基本中の基本」と題して、ご講演を賜ります。

今回も、前回同様 Zoom ウェビナーによる web 開催になりますが、会員の皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

〈プログラム〉

テーマ：「今日からできる化学物質の管理」

特別講演1（14：00～15：15）

「化学物質の管理は、どうすればいいのか？～自律管理に向けて～」

座長：京都工場保健会

森口次郎

演者：NAOSH コンサルティング

中原浩彦

特別講演2（15：30～16：45）

「見直してみよう！化学物質管理の基本中の基本」

座長：大阪市立大学大学院医学研究科産業医学

林 朝茂

演者：センクス産業医事務所

坂本史彦

〈参加費〉

日本産業衛生学会員：無料

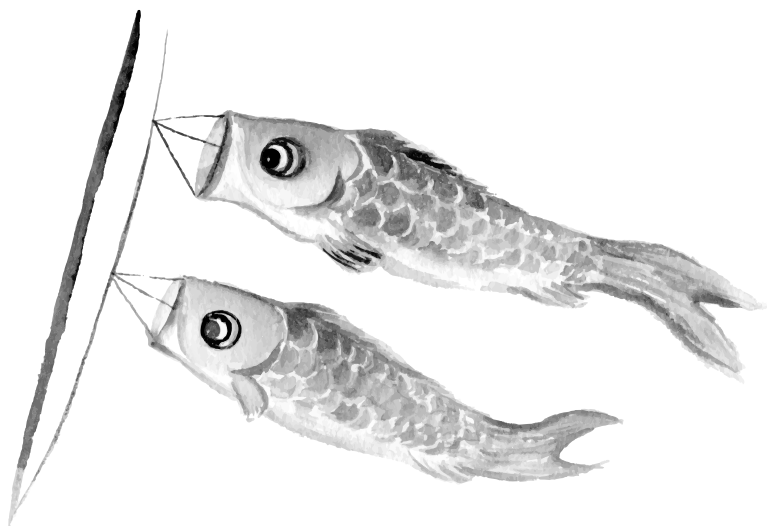
〈単位申請〉

日本医師会産業医認定単位：今回の単位はありません。

日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度研修：単位申請中

〈申し込み方法・参加方法〉

近畿地方会ホームページに掲載予定です。



2021 年度近畿地方会収支報告および 2022 年度予算

第 2 号議案、第 5 号議案

1. 収入の部

| 科 目 | 2021 年度予算額 | 2021 年度決算額 | 2022 年度予算額 | 決算額の備考 |
|--------------|------------|------------|------------|-----------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 事業収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 協賛金等収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 参加登録料収益 | 0 | 0 | 0 | 総会特別プログラムなし |
| 受取補助金等 | 1,800,000 | 1,902,543 | 1,950,000 | |
| 受取本部助成金 | 1,800,000 | 1,902,543 | 1,950,000 | 本部からの助成金 |
| 受取地方公共団体助成金 | | | | |
| 受取負担金 | 2,160,000 | 2,298,000 | 2,200,000 | |
| 受取活動費 | 2,160,000 | 2,298,000 | 2,200,000 | 地方会活動費 |
| 雑収益 | 0 | 40 | 50 | |
| 受取利息 | 0 | 47 | 50 | 利息 |
| 雑収益 | 0 | 374,124 | | 職業性筋骨格障害研究会残金返金 |
| 経常収益計 | 3,960,000 | 4,574,714 | 4,150,050 | |

2. 支出の部

| 科 目 | 2021 年度予算額 | 2021 年度決算額 | 2022 年度予算額 | 決算額の備考 |
|-------------|------------|------------|------------|-----------------------------|
| 事業費 | 3,465,000 | 2,911,714 | 3,900,000 | |
| 臨時雇賃金 | 50,000 | 0 | 0 | 総会特別プログラムオンライン |
| 会場費 | 100,000 | 114,920 | 300,000 | オンライン会場費など |
| 旅費交通費 | 0 | 8,100 | 10,000 | オンライン会場出役の交通費 |
| 減価償却費 | 0 | 42,795 | | パソコンの減価償却費(本部指示による) |
| 通信運搬費 | 20,000 | 1,260 | 20,000 | 特別プログラムの通信費(郵送代など) |
| 印刷製本費 | 100,000 | 72,701 | 100,000 | 総会出欠葉書、抄録、ニュース封筒印刷 |
| 懇親会費 | 0 | 0 | 0 | |
| 消耗品費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 機関紙発行費 | 570,000 | 554,220 | 560,000 | 地方会ニュース印刷発送費 |
| 研究費 | 50,000 | 0 | 50,000 | |
| 諸謝金 | 100,000 | 0 | 100,000 | 総会特別プログラムなし |
| 学会助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| 協議会助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| 大会研修会助成金 | 500,000 | 303,528 | 800,000 | 近畿産業衛生学会助成金(返金を差し引く) |
| 部会助成金 | 450,000 | 450,000 | 600,000 | 150,000 円×3 部会 |
| 研究会助成金 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 50,000 円×2 研究会 |
| 委託費 | 1,040,000 | 889,955 | 880,000 | 事務支局(88 万円) ¥7,975 郵便局 |
| 開発保守費 | 370,000 | 370,000 | 370,000 | HP 関連(例年+60 回近畿産衛サイト 2.5 万) |
| 雑費 | 10,000 | 4,235 | 5,000 | 振込手数料等 |
| 管理費 | 456,000 | 272,963 | 1,096,000 | |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | |
| 理事幹事会費 | 25,000 | 12,100 | 15,000 | 会計監査会場費 |
| 旅費交通費 | 25,000 | 5,400 | 5,000 | 会計監査交通費 |
| 通信運搬費 | 60,000 | 51,938 | 60,000 | 総会・代議員会出欠はがき受取手数料 |
| 役員改選費 | 20,000 | 0 | 800,000 | |
| 印刷製本費 | 80,000 | 70,652 | 80,000 | 活動費振替用紙、封筒印刷費 |
| 消耗品費 | 1,000 | 110 | 1,000 | クリアファイル 1 つ |
| 委託費 | 242,000 | 132,000 | 132,000 | 会員管理システム保守料 |
| 雑費 | 3,000 | 763 | 3,000 | 振込手数料等 |
| 経常費用計 | 3,921,000 | 3,184,677 | 4,996,000 | |
| 当期一般正味財産増減額 | 39,000 | 1,390,037 | -845,950 | |
| 一般正味財産期首残高 | 5,965,798 | 5,965,798 | 7,355,835 | |
| 一般正味財産期末残高 | 6,004,798 | 7,355,835 | 6,509,885 | |

2021 年度事業報告

第 1 号議案

1. 第 61 回近畿産業衛生学会の開催

日時：2021 年 10 月 23 日（土曜日）

会場：AP 梅田（大阪市）および WEB（ZOOM ウェビナー）

学会長：伊藤正人（パナソニック健康保険組合健康管理センター）

内容：テーマ「大変革期の産業保健 ～ with コロナ時代の将来展望～」

教育講演、基調講演、シンポジウム、一般口演（VOD 配信）

2. 第 69 回近畿地方会総会の開催

(1) 書面総会 賛 518 通、否 0 通

(2) 学術講演会

2021 年 6 月 19 日（土）新型コロナウイルスに対する産業保健（zoom 配信）

3. 地方会役員会（代議員会・理事会・幹事会）の開催

(1) 書面代議員会 賛 64 通、否 0 通

(2) 幹事会

第 1 回 2021 年 6 月 30 日（水） web 開催

第 2 回 2021 年 11 月 10 日（水） web 開催

第 3 回 2021 年 2 月 10 日（木） web 開催

4. 地方会部会活動

(1) 産業医部会

1) 2021 年 10 月 23 日 AP 梅田及び WEB 開催
第 26 回産業医部会研修会

（第 61 回近畿産業衛生学会の枠組で実施、また看護部会と共催）

テーマ「新型コロナウイルス感染症禍の産業保健」 109 名参加

2) 幹事会の開催：第 1 回 2021 年 10 月 12 日（書面開催）

第 2 回 2022 年 01 月 27 日（WEB 開催）

(2) 産業看護部会

1) 2021 年 10 月 23 日 AP 梅田及び WEB 開催
第 1 回定例研修会

（第 61 回近畿産業衛生学会の枠組、また医部会共催）

2) 2022 年 1 月 22 日 WEB 開催 第 2 回定例研修会

3) 2021 年 6 月 26 日 関西医科大学会場 産業保健看護専門家制度登録者試験

4) 幹事会の開催（WEB）：2021 年 5 月 23 日、10 月 9 日、10 月 24 日、2022 年 1 月 22 日

5) メルマガ配信：2021 年 3 月、4 月、5 月、7 月、12 月

6) 産業保健看護の定義検討委員会幹事 3 名参画
(3) 産業衛生技術部会

1) 2021 年 3 月 20 日開催

テーマ：「溶接ヒュームの曝露防止について」
中央労働災害防止協会 労働衛生総合センター
（大阪市西区土佐堀 2-3-8）

2) 総会 中止

(4) 産業歯科保健部会

1) 2021 年 9 月 18 日 産業歯科保健部会（設立準備会）研修会 Web 開催

5. 地方会ニュースの発行

近畿地方会ニュースを年 2 回（124 号～125 号）発行。

6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、メールアドレスの登録がある会員宛に研修案内を送るなど地方会会員に迅速に情報を提供した。

7. 研究会、研修会、プロジェクト等

(1) 産業精神衛生研究会

日時：2021 年 10 月 27 日（水）開催

会場：エル・おおさか南館 5 階ホール

テーマ：「パーソナリティ障害の対処をめぐって」

(2) 職業性筋骨格系障害研究会

日時：2021 年 11 月 13 日（土）ハイブリッド開催

会場：滋賀医科大学、大阪府保険医協同組合

テーマ：産業医慢性疼痛セミナー

(3) 若手活性化プロジェクト

1) 第 10 回研究室訪問

2021 年 8 月 4 日 和歌山県立大学衛生学教室
（zoom 配信）

2) 第 11 回研究室訪問

2021 年 10 月 7 日 大阪市立大学大学院医学研究科 精神神経医学教室（zoom 配信）

8. 役員選挙の準備・実施

2020 年度選挙の電子投票システムでは被選挙人設定が 1000 人が上限であったため、近畿地方会では 1000 人以下にすべく事前に推薦を実施していた。2022 年度選挙で導入される新電子投票システムでは上限が撤廃され事前推薦が不要となる。これに伴い地方会選挙細則を改正した。

9. その他

なし

2022 年度事業計画

第 4 号議案

1. 地方会学会の開催

第 61 回近畿産業衛生学会

日時：2022 年 10 月 22 日（土）
 場所：大阪大学コンベンションセンター
 学会長：祖父江友孝（大阪大学大学院医学研究科）

- I. 一般演題
- II. 特別講演
- III. シンポジウム

2. 地方会総会の開催

第 70 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2022 年 6 月 18 日（土）
 場所：大阪市内貸会議室（オンライン開催場所）

- I. 地方会総会 書面開催
- II. 学術講演会 web 開催で計画

3. 地方会役員会（代議員会・理事会・幹事会）の開催

代議員会

- 第 1 回 2022 年 6 月 18 日（土）書面開催
- 第 2 回 2022 年 10 月 22 日（土）大阪大学コンベンションセンター

幹事会

- 第 1 回 2022 年 6 月 web で開催
- 第 2 回 2022 年 8 月 web で開催
- 第 3 回 2022 年 10 月 22 日（土）大阪大学コンベンションセンター
- 第 4 回 2023 年 2 月大阪市内貸会議室で開催

4. 地方会部会活動

1) 産業医部会

- (1) 2022 年 10 月 8 日（土）第 27 回近畿産業医部会研修会
 （中西麻由子実行委員長、会場：ドーンセンター大ホール）
- (2) 幹事会：年 2 回を予定

2) 産業看護部会

- (1) 定例研修会 1 回予定：（詳細未定）
- (2) 2022 年 6 月 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協力
- (3) 幹事会：年 3 回開催予定、メールマガジン配信（随時）、SNS 配信予定

3) 産業衛生技術部会

- (1) 2022 年 8 月 7 日（日）13:30～16:30 2022 年度産業衛生技術部会研修会
 場所：中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター

テーマ：with コロナ時代のセルフケア～問題解決療法を学ぶ～

講師：近畿大学総合社会学部 教授 本岡寛子

- (2) 2022 年 10 月 22 日（土）地方会学会にて 17：20～17：50 総会開催予定
 （大阪大学コンベンションセンター 1F 会議室 1）
- (3) 幹事会の開催：未定
- 4) 産業歯科保健部会
 - (1) 2022 年 3 月 5 日設立総会（ドーンセンター）
 - (2) 近畿産業歯科保健部会研修会
 - (3) 幹事会開催

5. 地方会ニュースの発行

5 月と 10 月に発行予定

6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

7. 研究会、研修会、プロジェクト等

- (1) 産業精神衛生研究会：年 1 回開催予定
 日時：9 月 7 日（水）18：30～21：00 エル大阪南館 5 階ホール

テーマ：人事・労務・総務の役割、産業保健職の役割

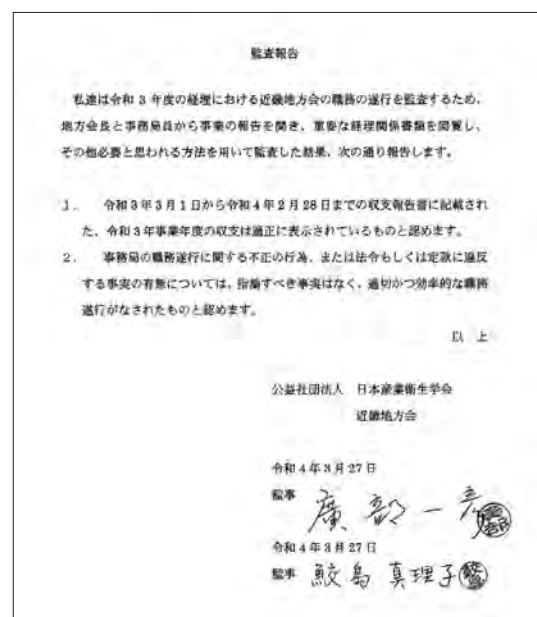
- (2) 若手活性化プロジェクト：実施方法など検討

8. 役員選挙の準備・実施

9. その他

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

第 3 号議案



2021 年度第 3 回幹事会議事録

日 時：2022 年 2 月 10 日（木）19：00～20：40

zoom で開催

出席者：東、伊藤、井上、岩根、上原、河津、清原、黒木、鈴木、佐藤、祖父江、竹内、谷池、堤、中西、長見、西田、濱田、林、平田、廣部、藤田、藤吉、深井、森岡、森口、森山、安田、津田（選挙管理委員長）、北村（第 62 回近畿産衛学会事務局）

欠席者：鮫島、村田（敬称略）

1. 審議事項

1) 2021 年度事業報告（案）

中西会長より、2 月 10 日幹事会の議事（別紙）に基づいて、事業報告があった。

2) 2021 年度決算報告（案）

中西会長より、別紙のとおり決算の説明があった。

3) 2022 年度事業計画（案）

中西会長より、別紙のとおり説明があった。

4) 2022 年度予算（案）（11 月に本部に提出済み）

5) 第 62 回近畿産業衛生学会の進捗状況（祖父江学会長）

祖父江学会長、北村事務局長より別紙概要のとおり、進捗状況の報告があった。

コロナのため、コンベンションセンターは飲食不可であり、タイムテーブルは例年と違うとのこと。今回の会場では飲食不可のためその対応を今後検討していく。次回 3 月 7 日に実行委員会予定。

6) 地方会選挙について（津田選挙管理委員長）

2020 年度選挙の電子投票システムでは被選挙人設定が 1000 人が上限であったため、近畿地方会では 1000 人以下にすべく事前に推薦を実施していた。2022 年度選挙で導入される新電子投票システムでは上限が撤廃され事前推薦が不要となる。これに伴い地方会選挙細則を改正する必要があるため、改正案の説明があり、幹事会で反対意見なく原案通りで採択された。規定通り代議員会総会・地方会ニュースで報告する。

7) 地方会事務局体制について

中西会長より、事務局の外注について提案があり、総務担当幹事で別途検討して、再度提案することとなった。ホームページの更新状況について意見交換があり、担当者については現状のままで様子を見ることとなった。

2. 報告事項

1) 第 61 回近畿産衛学会報告（伊藤学会長）

別紙のとおり決算及び反省会議事録について報告。

2) 若手活性化プロジェクト（森口副会長）

別紙のとおり報告。近藤教授の教室訪問はリアルの予定であったが、コロナの影響で開催できなかった。参加型・アンケート結果を反映した若手活性化企画の実施等について議論した。ウォーキングイベントの 10 月頃実施を検討している。入会申し込みの職種を増やすかどうかについての議論があった。

3) 第 70 回近畿地方会総会の特別講演・シンポジウム（林理事）

6/18 に実施。内容を担当の先生方と検討中。マニュアル化を検討している。

4) 第 63 回近畿産業衛生学会学会長の決定（中西会長）

学会長は兵庫医科大学の島正之先生で内諮済み。次回幹事会に参加してもらうことを検討している。

5) 地方会ニュースの発行状況と HP 更新状況（清原幹事・谷池幹事）

清原幹事より、地方会ニュース 126 号内容案について説明があった。4 月 4 日締め切り、5 月 13 日発行予定である。谷池幹事より HP 更新状況について報告があった。

6) 本部理事会の報告（井上理事）

産業衛生学会誌の投稿費が上がる見込み。

日本産業衛生学会総会予定開催地は第 95 回は高知、第 96 回は宇都宮（諏訪園先生）の予定である。第 97 回は、5 大都市でやるということになっていたが、中国地方会は広島でやりたいとのこと。コロナでハイブリッドでやるのなら 5 大都市でやる必要はないとのこと、広島でやることになった。ただし業者については同じところで継続してやっていく。産業衛生学会全国協議会予定開催地については第 32 回が北海道（札幌）、第 33 回が山梨（甲府）の予定である。100 周年に向けてのイベントが行われるかもしれない。産業衛生学会学術総会が近畿に来るのは 2025 年の予定。

7) その他

2022 年度は選挙管理委員の交代の時期。連続性を保つために 6 人のうち 3 人ずつ 2 年で交代することとしている（一人の任期は 4 年）。産業医部会から一尾直子先生と久保とし子先生、看護部会から益江淑子先生で、本部選挙管理委員会に推薦する。

第61回近畿産業衛生学会開催のご報告

パナソニック健康保険組合産業保健センター所長／近畿産業医部会長
第61回近畿産業衛生学会 大会会長 伊藤 正人

表記学会を2021年10月23日に開催いたしましたことをご報告申し上げます。

つきましては、開催・運営に関し、ご尽力いただいた深井恭佑事務局長をはじめ、実行委員・顧問・幹事の皆様には大変お世話になりました。紙面を借りて厚く深謝申し上げます。

当初はパナソニックリゾート大阪でのリアル実施を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、web開催に変更させていただきました。具体的には、演者・座長と事務局スタッフのみが貸会議室に集まり、ご講演とパネルディスカッションを遂行いたしました。

その結果、大きなトラブルもなく、お陰様でWEB参加者数は345人と大盛況でした。

当学会では「大変革期の産業保健～with コロナ時代の将来展望～」という大テーマを掲げました。産業保健は時代の変遷とともに健康障害因子やあるべき姿も変化していきます。今回のコロナ禍においても同様で、ニューノーマルな社会に適合した産業保健が望まれます。しかし、どのような時代でも基本となるコアコンピタンスは変わらず、「労働と健康を調和するように支援すること」が引き続き重要だと思えます。このなかで、当学会では、特に「テレワークの課題や循環器疾患／生活習慣病の予防対策」を切り口に議論して頂きました。

まず「教育講演」として、産業技術部会の大阪青山大学健康科学部教授の相羽洋子先生を座長とし、「快適なテレワークのために～作業管理と作業環境管理を中心に～」と題して、滋賀医大社会医学講座衛生学部門助教の辻村祐次先生にご講演頂きました。

コロナ禍で作業環境が自宅環境になっている労働者も多く、学術的な裏付けを元にした、すぐにでも実施できる改善策をご教授いただきました。特に人間工学的な作業中断の目安である「20-20-20ルール」は非常に参考になりました（20分の作業で、20秒の休憩、20フィート[≒6m]先を見るそうです）。

その後、産業医部会と産業看護部会との共催企画の「基調講演およびシンポジウム」を実施いたしました。産業医部会の長谷工クリニック西田和彦先生を座長に、「基調講演」として「コロナ時代の職域における循環器疾患の管理」と題して、大阪大学医学部循環器内科学教授の坂田泰史先生にご講演いただきました。

高齢化社会では、今課題である脳血管疾患の次に、「心不全」が問題となり、その予防として在職中の健康管理が益々重要になるなど、産業保健活動への期待を熱く語って頂き、産業保健職として意を強くしました。

続くシンポジウムでは、基調講演に連動した話題で、「コロナ禍での職域における生活習慣病対策」について、多職種間での討論を重ねて頂きました。

小職および大阪産業保健総合支援センター（近畿産業看護部会長）の鈴木純子先生が座長を務め、4名のシンポジストにご登壇頂きました。まず、専属産業医の立場で、先の長谷工クリニックの西田和彦先生に、「コロナ禍での健康管理状況の変化や産業保健現場の対応策について」を、精検医の立場で、パナソニック健保健康管理センターの吉田直樹先生に「コロナ前後で健診結果や精検現場がどのように変化したかについて」を、また、産業看護職の立場で株式会社ダイセルの天野和代先生に、「コロナ禍が始まって、いち早く実施したICTを利用した心と体の健康づくりの好事例」を、歯科医の立場では大阪歯科大学口腔衛生学の安田恵理子先生（近畿歯科部会長）より、「コロナ感染対策に口腔ケアが重要であることや、一生を通じて口腔歯科予防が生活習慣対策になること」を分かり易くご講演頂きました。

総合討論でも聴視者からの多数の質問に、それぞれのパネリストが丁寧にお答え頂きました。

また11月初旬からは、一般演題として「コロナ禍・在宅・遠隔産業保健」に7題、「生活習慣病・がん対策」に8題、「メンタルヘルス関連」に5題、「産業衛生関連」に4題、「活動報告・教育関連」に5題の計29演題のご発表を、ビデオオンデマンド（VOD）形式での配信を行いました。視聴期間内に一般演題だけで255件、学会全体で419件のアクセスがありました。

一般演題からは「労働衛生検査用混合標準液の開発」の演題名で、中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センターの平野真由美先生が、そして「職業性ストレス簡易調査票におけるストレス反応6尺度の細分化と深化過程の検討」の演題名で、京都工場保健会の倉谷昂志先生が、それぞれ「優秀演題賞」と「若手奨励賞」を受賞されました。おめでとうございます。

来年は2023年11月22日に大阪大学医学部公衆衛生学の祖父江友孝教授を大会会長として、大阪大学吹田キャンパスにおいて第62回近畿産業衛生学会が開催される予定です。リアル開催とお聞きしておりますので、多くの皆様のご出席を賜りますよう、私からもどうぞ宜しくお願いします。



第31回日本産業衛生学会全国協議会の報告

第31回日本産業衛生学会全国協議会
に参加して

パナソニック健康保険組合

國枝 佳祐



みなさまこんにちは。パナソニック健康保険組合で産業医をさせて頂いております、國枝佳祐と申します。

今回、ハイブリッド方式にて実施された、第31回日本産業衛生学会全国協議会に三重県の津にて現地参加をさせて頂き、その報告をさせていただきます。

私自身、現地開催の学会に参加できるのは名古屋で実施された第92回日本産業衛生学会以来でした。東海地方の先生・関係者の方には、困難な状況にもかかわらず現地開催も行って頂きましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

本学会はハイブリッド開催のため、多くの講演に参加できる、復習ができるなど多くのメリットを感じました。また、やはりリアルで参加することで学会に集中することができ理解は深いものになると感じました。

今回のメインテーマは「経済社会と健康：ポストコロナの産業衛生を考える」でした。近年、自社にて産業保健活動を行うにあたり、エビデンスの重要性を感じておりました。会社が健康に投資するにあたってやはり説得する材料がほしいと考えておりました。その中で今回の学会においては、エビデンスの重要性、またエビデンスを発見するためのデータをすでに我々は沢山持ち合わせている事がわかりました。今後はそのデータをどのように活用するかが重要であるという事を大変分かり易く、多くの視点から教えて頂きました。初めて参加した実地研修の「若手研究者の会・自由集会」では研究における仮説の立て方をグループワーク形式で学ぶことができました。今後、今回学んだ事を役立てて研究を行い、学会にて発表できるように精進していきたいと思えます。また、新型コロナウイルス感染症に関しても、他で聞けないような最新知見をご教授頂きました。

夜はまだ、懇親会とまではいきませんが、地元の料理店で多くの海鮮など地元料理を堪能することができました。この各地を味わうことも学会の魅力と久しぶりに感じました。次こそは皆さまにリアルでお会いできる事を期待しております。以上簡単ではございますが、参加報告とさせていただきます。

第31回日本産業衛生学会全国協議会の報告

第31回全国協議会に参加して

日本放送協会健康保険組合
大阪支部・健康管理室

藤田 千賀子



「経済社会と健康：ポストコロナの産業衛生を考える」をテーマに開催された全国協議会。感染状況も落ち着いていた時期で、ぜひ現地参加させていただこうとワクワクしていたのですが、業務の都合によりオンライン参加になったことは非常に残念でした。それぞれのシンポジウムの中でも取り上げられていましたが、良くも悪くも「オンライン化」が一気に進んだことは、大きな変化だと感じています。進んだというよりは、なし崩し的に拡がったという感覚でしょうか。私自身の業務から考えても、在宅勤務者の健康管理や、今まで対面で行っていた健康相談・保健指導などを、突然オンライン方式にしなければならなくなりました。試行錯誤しながら、どうすればいいのだろうかと思案していましたので、今回、様々な観点から考え方を示していただけたことは大きな収穫でした。通勤というものが意外と気分転換になっているというお話もあり、体を動かすことが減ってしまって疲労の質が変わっていることに気づかされました。

また、地域・職域連携のシンポジウムが個人的にはとても勉強になりました。ガイドラインが改訂されて、重要性については頭でわかっているものの、実際に連携となると、どこから関わっていけばいいのか難しいところです。コロナ禍において連携が滞ってしまうのではなく、この時期だからこそできる連携を行っていくという方向性が紹介されたことに共感すると同時に、日ごろからの連携基盤があるからこそその活動であると改めて強く感じました。

新型コロナウイルス感染症の出現により、経済社会のあり方、働き方、産業衛生のあり方も今大きなうねりの中にあります。その中で、いつまでも立ち止まっているのではなく、新しい産業衛生のスタイルを構築していこうというパワーをたくさんいただくことができました。今回の協議会に参画して下さった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

近畿産業看護部会研修会報告

2021年度 近畿産業看護部会
第2回定例研修会に参加して小野薬品工業(株) 人事部
人事管理室 保健師

佐藤 麻美



講演会『産業看護職が知っておきたい化学物質による健康障害・対策・法的背景』では、四日市看護医療大学学長柴田英治先生より、化学物質と粉塵による健康障害の症例紹介、化学物質に係る法令規制および措置、事業場における自律的な化学物質管理についてご講演をいただきました。産業保健の職務「①事業場で取り扱う化学物質と性質の把握、②化学物質に係る法令規制の把握、③衛生管理者等との連携強化、④取扱い状況の定期観察、⑤労災発生状況・法令に関する情報収集¹、⑥相談先の確保」をご教示いただきました。Q&Aでは優先順位に則したRA、社内連携、人材育成、事例の蓄積と共有、産業保健ネットワークの活用についてご提言いただきました。

懇談会『今後の産業保健看護の展望と将来に向けた活動について』では、日本産業衛生学会看護部会部会長五十嵐千代先生より、産業看護部会発足からグランドデザインに基づく活動方針と事業内容、「事業場における保健師・看護師の活動実態に関する調査」報告についてご講話いただきました。産業保健看護の定義案や大綱、基盤となる公衆衛生や概念、細やかな個人支援とダイナミックな組織アプローチで「見て・繋いで・動かす」産業保健看護の専門性をご教示いただきました。事業者が求める生産性向上と Well-being といった高い健康レベルに應えるため、危機管理やBCPを含めた経営的視点を持ち、企業人としてのバランス感覚を養い、社会情勢に合わせたしなやかな活動展開を期待されるものと理解しました。意見交換では Well-being の評価、両立支援、多職種連携、個人情報取扱い、産業保健の在り方など、沢山の質疑にお答えいただきました。柴田先生から「産業保健看護職への期待」と、五十嵐先生から「愛され光り輝く存在に」とエールをいただき大変有意義な機会となりました。健康経営や企業のBCPに産業保健師として関わる機会が多くなりました。組織と共に、組織の一員として信頼され愛されながら貢献できるよう精進いたします。

¹ 情報収集先紹介：安全衛生情報センター
<https://www.jaish.gr.jp/>

若手活性化プロジェクトからご報告

産業衛生学会近畿地方会 地方会副会長
京都工場保健会

森口 次郎

若手活性化プロジェクトの活動についてご報告します。

2021年度、産業保健のビギナーにも興味を持っていただけることを意識して、2回の研究室訪問を実施しました。第10回は、21年8月4日にZOOM開催にて和歌山県立医科大学医学部衛生学教室をお伺いし、藤吉朗教授、東山綾准教授、鈴木春満先生、青野直輝先生から講演いただき、質疑応答を行いました。先生方のご講演から循環器疾患などに関わる疫学研究の面白さを学ぶことができました。第11回は、21年10月7日にやはりZOOM開催にて大阪市立大学（現 大阪公立大学）大学院医学研究科 神経精神医学教室をお伺いし、井上幸紀教授、岩崎進一准教授、出口裕彦講師から講演いただき、質疑応答を行いました。多くの産業保健職が関心を持つ精神保健について、現場で役立つ知見を教えていただきました。この場をお借りし、両教室の皆様へ心から御礼申し上げます。実は第12回として、22年2月4日に京都大学大学院医学研究科国際保健学講座 社会疫学分野の近藤尚己教授の研究室を訪問する予定でしたが、「運動や交流をしたくなるようなデザインのオフィスを実際に見てもらいたい」との近藤教授のご希望で実地訪問を予定していたため、オミクロン株の流行拡大を受けて残念ながら断念いたしました。

また若手活性化プロジェクトでは21年度、近畿地方会会員を対象に、学会発表の位置づけや問題点に関するアンケートを実施し、第61回近畿産業衛生学会にてプロジェクトメンバーである藤吉奈央子先生が一般演題発表いたしました。この場を借りてアンケートへのご協力に感謝申し上げます。アンケートの分析から、若手の皆さん、ベテランの皆さん、いずれも半数程度が学会参加に積極的であることがわかり、若手は研究の進め方がわからないことが、ベテランは時間不足が学会発表の障壁となっていることなどがうかがわれました。

このアンケート結果を受けて、2022年度は研究室訪問を休止し、

1. 過去の産業衛生学会一般演題を題材に、研究デザイン、統計手法、倫理的注意点などについて疫学の専門家が解説する研修
2. 産業衛生学会GPSを題材に、その良い点や自分ならどう取り組むのかなどについての少人数の意見交換会などを候補に企画を検討していくことになりました。早ければ7月ごろに実施したいと考えております。

また以前、好評を博したウォーキングイベントについても、新型コロナウイルスの動向によりますが、若手の先生方を中心に10月ごろに実施したいと考えています。

今後ともよろしくお願いたします。

選挙管理委員会からのお知らせ

1) 本年度は近畿地方会役員（次期地方会長、次期監事、次期代議員）選挙および理事候補者選挙の年です。

メールアドレス・勤務先・自宅住所などの変更があれば、日本産業衛生学会ホームページ（<https://www.sanei.or.jp/>）に会員ログインし、マイページの【プロフィール変更】にて、最新のものに更新して下さい。7月末までに会費を全納されていない場合、選挙人、被選挙人として名簿に登録されませんのでご注意下さい。

2) 代議員選挙、被選挙人推薦方法の変更について

本年度は代議員被選挙人の事前推薦は実施せず、8月15日頃に中央選挙管理委員会から届く名簿に記載された方全員を、選挙管理委員長が被選挙人として推薦する方法に変更いたします。これにともない、近畿地方会選挙細則を2022年2月10日に改正しております。近畿地方会ホームページ（<https://jsoh-kinki.jp/>）上に選挙管理委員会からのお知らせ、選挙公告、選挙細則など選挙関連記事を掲載しますので、ご確認下さい。なお、本選挙は日本産業衛生学会のホームページから9月に実施します。詳細な選挙案内は9月中旬(予定)に発送します。(地方会長、監事、理事候補者選挙方法に変更はありません)

近畿地方会選挙細則（2022年2月改正）

第1条 日本産業衛生学会定款第8条ならびに第26条による「役員を選任に関する細則」、「代議員を選任に関する細則」、「地方会に関する細則」、「選挙管理委員会に関する細則」、及び近畿地方会会則第8条に基づき、地方会会長（以下「会長」という）、理事候補者、代議員、地方会監事（以下「監事」という）を選出するため本細則を定める。

第2条 会長、代議員、監事を選任に関する選挙資格・被選挙資格は「代議員の選任に関する細則」第2条が定める地方会会員に限られる。

第3条 会長、代議員、監事選出の方法と定数

1. 会長、監事、代議員の投票は、電子投票システムにより行う。
2. 会長、監事選挙については、立候補もしくは本人の承諾を得て推薦され、地方会選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿による。ただし、同一人物は地方会長と監事の両方に立候補(推薦)できない。
3. 会長については1名まで投票できる。期間内に届け出た候補が1名の場合、無投票当選とする。
4. 監事については2名まで投票できる。期間内に届け出た候補が1名の場合、その候補は無投票当選とする。不足の人員について公募延長とし1名の投票で決定する。追加候補が1名の場合は無投票当選とする。
5. 代議員選挙については、地方会選挙管理委員長は中央選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿に記載されているすべてのものを被選挙人として推薦する
6. 代議員の定数は「代議員の選任に関する細則」第5条第1項の定めるところによる。代議員につい

ては10名まで投票できる。追加選挙も10名までの投票とするが、追加選挙の定数が10名未満の場合は追加定数名までの投票とする。

7. 当選の決定は得票順に定数までとする。
8. 得票が同数の場合、地方会選挙管理委員会がくじにより順位をつける。
9. 代議員選挙において、定数の外、得票順に若干の予備代議員を選任する。

第4条 理事候補者の選出の方法と定数

1. 理事候補者の定数は中央選挙管理委員会の定めるところによる。
2. 新しく選出された代議員は、互選により理事候補者を4名まで電子投票システムによる投票ができる。定数が4名未満の場合は、定数まで投票できる。
3. 監事に決まった者は理事候補者には挙げない。
4. 理事候補者の当選の決定は得票順に定数までとし、以下得票順に若干の予備理事候補者を選任する。
5. 得票が同数の場合、地方会選挙管理委員会がくじにより順位をつける。
6. 理事候補者に選ばれた者が就任の辞退を申し出た場合は、次点の者を当選者とする。

第5条 選挙管理委員会

会長は、「選挙管理委員会に関する細則」第2条に基づき、地方会選挙管理委員会委員として代議員から委嘱する。

地方会選挙管理委員会は中央選挙管理委員会と協力し、以下のことを行なう。

1. 本会選挙全般にわたる公正、民主的な管理運営
2. 選挙人・被選挙人資格の確認
3. 被選挙人名簿の作成、発送
4. 電子投票システムの整備およびそれに関連する作業
5. 開票作業、当選人の決定
6. 会長ならびに中央選挙管理委員会への報告、その他必要な事項

第6条 この細則の改廃は幹事会で行い、代議員会、総会に報告する。

附則

- 1 本改正細則は平成13年5月26日より実施するものとする
- 2 本改正細則は平成16年5月29日より実施するものとする
- 3 本改正細則は平成26年6月21日より実施するものとする
- 4 本改正細則は平成28年6月11日より実施するものとする
- 5 本改正細則は平成29年11月18日に改正し、平成30年6月1日より実施するものとする
- 6 本改正細則は平成30年6月16日より実施するものとする
- 7 本改正細則は令和2年2月26日に改正し、令和2年6月17日より実施するものとする
- 8 本改正細則は令和4年2月10日に改正し、令和4年6月18日より実施するものとする

第 62 回近畿産業衛生学会のお知らせ

大阪大学大学院医学系研究科環境医学

第 62 回近畿産業衛生学会長 祖父江 友孝

1. テーマ：「職域におけるがん検診」
2. 会場：大阪大学コンベンションセンター（吹田キャンパス）
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1
<https://facility.icho.osaka-u.ac.jp/convention/map.html>
【JR 東海道線】茨木駅下車 近鉄バス「阪大病院・阪大本部前」行に乘車。終点「阪大本部前」下車 徒歩 3 分
【北大阪急行線】千里中央駅下車 阪急バス「阪大本部前」行または「茨木美穂ヶ丘」行に乘車。「阪大本部前」下車 徒歩 3 分
【大阪モノレール】万博記念公園駅で彩都線（国際文化公園都市線）に乗り換え、「阪大病院前」駅下車 徒歩約 10 分
※当日は、混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。
3. 日時：令和 4 年 10 月 22 日（土）9：10～17：20 予定
4. プログラム
午前…一般演題
(1) 基調講演「職域がん検診の利益・不利益」
演者：祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科環境医学講座 教授）
午後…代議員会
(2) シンポジウム「職域がん検診の最前線」
(3) 教育講演「産業医が知っておくべき COVID-19 の最新知識」
演者：忽那 賢志（大阪大学大学院医学系研究科感染制御医学講座 教授）
夕…産業技術部会総会
※日本医師会認定産業医、産業保健看護専門家の研修単位認定申請中。

5. 一般演題申込

- (1) 演題申込
演題の申込は本ニュース同封の「演題申込用紙」あるいは第 62 回近畿産業衛生学会ホームページよりダウンロードした「演題申込用紙」に必要事項をご記入の上、8 月 24 日（水）までに、事務局まで E メールでお申込み下さい。受付完了の返信を 1 週間以内に送りますので、返信がない場合は事務局へお問い合わせください。
一般演題の筆頭演者は、日本産業衛生学会の学会員である必要があります。会員でない方は、入会手続きを事前に行ってください。
- (2) 抄録の作成：「発表抄録原稿」および「産業衛生学雑誌投稿用 400 字原稿」
学会ホームページより「発表抄録原稿の作成要項」をダウンロードし、要領に従って作成して下さい。また産業衛生学雑誌に掲載するための本文 400 文字以内の原稿も作成して下さい。2 つの原稿を 9 月 16 日（金）までに事務局までメール添付でお送り下さい。（FAX・郵送不可）
- (3) 発表者用パワーポイントファイル
発表方法は PowerPoint のみとします。発表用データは、10 月 12 日（水）までに事務局へメール添付でお送り下さい。原則として、学会当日の受付・差し替えはいたしません。メールの件名は「発表データ（演者氏名）」として下さい。10 月 19 日（水）14 時までに受領確認の返信メールをお送

ります。14 時を過ぎても返信メールがない場合は、恐れ入りますが事務局にメールでご確認をお願い致します。

一般演題の構成は、発表 7 分＋質疑応答 3 分（移動時間込み）の予定です。

発表方法は Windows 版 PowerPoint とします。標準フォント以外は正常に表示されない可能性があるため、使用を避けてください。動画ファイルをご希望の方は、事前に事務局へご相談ください。対応できない場合があります。

6. 近畿産業衛生学会優秀演題賞と若手奨励賞

優れた演題の発表者に対し優秀演題賞が贈られます。また今回も若手奨励賞を設けます。対象者は一般演題の発表者の内、学生・若手研究者（申込時に 40 歳未満）に該当する方です。該当者は演題申込用紙の所定の欄に○印をつけて下さい。多数の演題申込みをお待ちしております。

7. 事前登録・参加費

(1) 日本産業衛生学会の学会員 1,000 円、大学院生・学生 1,000 円、その他 2,000 円（当日現金のみ、電子マネーには対応していません）。

当日受付も可能ですが、参加者数把握のため 10 月 5 日（水）までにホームページにて事前登録にご協力下さい。

(2) 日医産業医研修の単位取得

必ずホームページの参加申し込みフォームより、事前申し込みをお願い致します（当日申し込みは受け付けません）。なお、単位申請申し込み順に最大 80 名とさせていただくことをご了承ください。参加当日に、3,000 円（計 3 単位）を受付にて支払いをお願いします（現金のみ、電子マネーには対応していません）。

8. その他

(1) 昼食

会場内となるコンベンションセンターは、食事禁止となっております。会場周辺には、大学の関連施設以外に飲食店がほとんどありませんが、構内のランチマップを用意しますので、参考に適宜食事を行ってください。

なお、ランチオンはありません。

(2) 託児所について

コロナ感染対策のため、託児所については設置しません。ご理解をお願いいたします。

(3) 駐車場について

公共交通機関の利用をお願いしておりますが、やむを得ず自家用車でお越しの方は、大阪大学吹田キャンパス内の駐車場を有料（1 日最大 6000 円）にて利用できます。台数に制限ありますので、ご理解をお願いします。

(4) 懇親会について

コロナ感染対策のため、懇親会については開催いたしません。

9. 演題申込・問い合わせ先

第 62 回近畿産業衛生学会運営事務局

大阪大学大学院医学系研究科環境医学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

担当：村井 由美

Email：kinki62@envi.med.osaka-u.ac.jp

10. 実行委員

学会長：祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科環境医学 医師）

事務局長：北村 哲久（大阪大学大学院医学系研究科環境医学 医師）

顧問：丸山 総一郎（兵庫産業保健総合支援センター 医師）

顧問：竹下 達也(和歌山産業保健総合支援センター 医師)
 実行委員：(50音順)
 東 賢一(近畿大学医学部環境医学・行動科学教室 准教授)
 伊藤 正人(パナソニック健康保険組合健康管理センター 医師)
 井上 勇太(徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護師)
 喜多村 祐里(大阪市こころの健康センター 医師)
 小松 雅代(大阪大学大学院医学系研究科環境医学 保健師)
 查 凌(大阪大学大学院医学系研究科環境医学)
 鈴木 純子(大阪産業保健総合支援センター 保健師)
 長見 まき子(関西福祉科学大学健康科学科 公認心理師)
 中山 邦夫((株)プリジストン 医師)
 馬場 幸子(大阪母子医療センター母子保健調査室 医師)
 平田 真以子((株)クボタ健康経営推進部 保健師)
 福田 早苗(関西福祉科学大学健康科学科 衛生管理者)
 益江 淑子(株式会社健康管理室 保健師)
 村木 功(大阪大学大学院医学系研究科環境医学 医師)
 村田 理絵(京都工場保健会 保健師)
 森口 次郎(京都工場保健会 医師)
 安田 恵理子(大阪歯科大学口腔衛生学 歯科医師)

11. 共催・後援(申請中)

共催・・・大阪府医師会・大阪産業保健総合支援センター
 後援・・・関西産研

12. 大会ホームページ

<https://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-62/>



スケジュール要約

| | |
|-----------|-------------------------|
| 8月24日(水) | 一般演題登録 締切 |
| 9月16日(金) | 抄録集用原稿・産衛誌用400字抄録 締切 |
| 10月5日(水) | 事前参加登録 締切 |
| 10月12日(水) | 発表スライド 受付締切 |

※尚、学会発表された会員に地方会ニュースの記事、「会員の声」の執筆等の依頼を担当者からさせて頂くことがあります。その際はご協力頂きますようお願いいたします。

近畿産業歯科保健部会設立と入会のご案内

近畿産業歯科保健部会 部会長

大阪歯科大学・口腔衛生 安田 恵理子

平素より、近畿産業衛生学会会員の皆様には大変お世話になっております。

設立準備中であることを地方会ニュース125号でお伝えした近畿産業歯科保健部会が、2022年3月5日に開催されました総会で設立承認されましたことを御報告申し上げます。総会開催時の入会者93名で、歯科以外の会員の入会も多く、歯科への関心の高さに感謝申し上げます。

総会では部会長に私が、監事に大野会員と上田会員が、その他副部会長に米永会員はじめ幹事12名が承認され、部会活動をスタートしています。今後多職種連携や交流の場となり、産業保健における歯科の役割を果たせよう研鑽して参る所存です。

入会は随時受け付けております。近畿地方会HPの産業歯科保健部会のバナーにある申込フォームにてお申し込み下さい。

昨年9月に設立準備として開催しましたWeb研修会では、多職種の参加の下、質問も活発に出て、おかげ様で盛会に終わりました。本年度も9月3日(土)15時より、大阪ドーンセンターに於いて、第1回近畿産業歯科保健部会研修会を開催する予定です。ときわ病院口腔外科の足立了平先生、日本IBMの加藤元先生に御登壇いただき、フレイル・オーラルフレイルを見据えての歯科の取り組みについて総論的に学べる研修会を企画しております。詳細決定後、改めて近畿地方会HP等で周知させていただきます。

ようやく歩み始めたばかりの部会ですが、今後とも御指導御鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

編集後記

地方会活動も色々と制約を受けている昨今ですが、3月には近畿産業歯科保健部会が設立され、若手活性化プロジェクトも新しい企画が進行中、そして今年は2年に一度の選挙の年で、常に新しい風が吹いています。その風を皆様にもタイムリーにお届けできますように、編集委員一同、頑張っております。(清原 達也)

編集委員(50音順)

井上 幸紀(担当理事) 清原 達也(当番編集長)
 谷池 正行 村田 理絵